

PDCAチェックシート

実施年度	令和 6 年度					
事務事業名	ため池点検調査事業(市単独補助事業)		担当課名	農林水産課		
【Plan】計画		【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善		
■目的 ため池点検調査実施により、ため池の現状を調査・把握するとともに効率的に管理し、被害を事前に想定することで、ため池防災・減災対策の基礎資料とする。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 目標値】 ○市内全ため池数 716箇所 ○令和5年度まで調査済数 596箇所 (実施年度：H25～R5) ○未調査実施数 120箇所 ○令和6年度(120箇所/2ヵ年)= 60箇所 (計画年度：R6～R7) 【達成値(R6繰越事業実績見込値)】 ○令和6年度繰越事業 調査実施見込数 50箇所 ○令和6年度事業繰越達成見込率 50箇所/60箇所=83.3% ○令和6年度繰越事業まで全体達成率 646箇所/716箇所=90.2%		■具体的取組 平成25年度より継続的にため池点検調査を実施している。 調査内容は、豪雨発生時及び地震発生時における対策の必要性の有無を診断し、評価は必要性が高い順にA、B、Cの3段階で判定している。 ☆評価基準 ①豪雨発生時（既往最大雨量425mm/既往最大時間雨量94mm） ②地震発生時（既往最大震度4） ■インプット(投入金額等) 事業費等 ○土地改良施設点検委託料 (ため池点検調査業務) ○H25～R5決算： 15,475千円 ○R6繰越決算見込： 2,750千円 合計 18,225千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ○H25年度～R5年度までの11ヵ年実績 調査実施数：596箇所 ○令和6年度繰越実績見込数：50箇所		■成果指標の具体的検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) ○予定していたため池調査数には若干届かなかったが、ほぼ達成することが出来き、令和7年度中の完成・見込みがたった。 本調査は、現地確認を含む豪雨及び地震対策による緊急整備度調査である。調査が完了していないため池のほとんどが小規模ため池であり、現地確認・精査に不測の日数を要していることが要因と考えられる。 ○ため池点検調査結果 (令和6年度繰越事業実績見込数) ①豪雨発生時（646箇所） A：84箇所 B：168箇所 C：394箇所 ②地震発生時（646箇所） A：53箇所 B：88箇所 C：505箇所 (評価区分) 評価A：緊急整備の優先度が高い 評価B：早急な整備が望まれる 評価C：整備の緊急性は低い		■検証結果を受けての具体的対応 令和7年度中に未実施の70箇所の点検調査を早期に実施し、市内716箇所全てのため池点検調査を完了したい。 この点検調査結果は、ため池機能の経過観察や維持管理、また防災・減災対策の判断基準として重要な基礎資料となる。 緊急整備度の高いため池のうち、防災重点農業用ため池となるものについては、国の補助制度を活用するとともに、それ以外のため池についても市の事業として、必要な対策を講じていく。 併せて、県及びため池サポートセンターと情報を共有し、今後の対策を検討していく。 引き続き、2巡目のため池点検調査を10年計画で実施し、経過観察と共に適宜対応していく。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。